大阪航空局　那覇空港事務所

主な採用区分

土木、デジタル・電気・電子、建築、機械

土木区分の主な業務

進入灯橋梁

草刈工　自動化施工

01　滑走路、誘導路、エプロン及び構内道路の他、進入灯橋梁、共同溝及び貯水槽など、空港の地上・地下にある様々な土木施設が空港の機能を支えている。これらの施設が常に安全で円滑に機能するようきめ細やかな点検・維持管理を行っている。

先輩職員に聞く仕事の魅力！

施設運用管理官（基本施設担当）
先任施設運用管理官付

安齋　音哉

２０２２年　大阪航空局　空港部　空港企画調整課採用
２０２４年　那覇空港事務所　施設部
　　　　　　施設運用管理官（基本施設担当）
２０２５年　現職

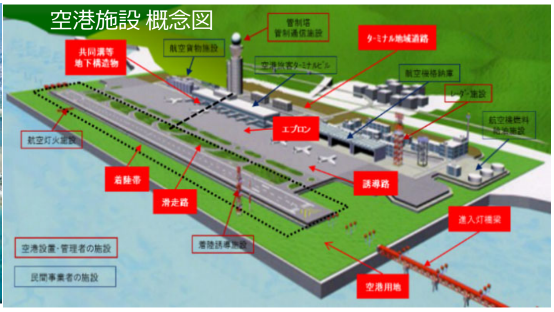
空港土木施設点検現場の立会

私は、那覇空港で空港機能の供用性、航空機の運航に対する安定性を確保するため、航空機の離発着に必要な基本施設（滑走路、誘導路、エプロンなど）をはじめとした空港土木施設の点検、維持、修繕を行っています。

航空局の土木職は空港の施設の維持管理を通して、人々の役に立つ実感を感じることができます。空港は毎日多くの人やものを運ぶ重要な施設で、航空機の安定的な運航を支える業務に携わることができるところが魅力のひとつです。

航空機に興味がある方、施設の維持管理に関わりたい方など、航空局に興味を持っていただけたら嬉しいです。

那覇空港



空港施設 概念図

デジタル・電気・電子区分の主な業務

航空灯火

電気施設

02　航空灯火は夜間や悪天候時であっても灯火により滑走路の形状等をパイロットに伝える施設である。また電気施設は空港内で使用される各施設に電源を安定して供給する施設である。これらの施設は空港の運用に欠かせない重要な施設で、航空灯火・電気技術官はその管理・運用・保守並びに整備を行っている。

先輩職員に聞く仕事の魅力！

航空灯火・電気技術官
先任航空灯火・電気技術官付

田中　真翔

２０２２年　東京航空局採用
　　　　　　東京空港事務所　管制保安部
　　　　　　航空灯火・電気技術官
２０２４年　那覇空港事務所　管制保安部
　　　　　　航空灯火・電気技術官
２０２５年　現職

　私は現在、主に航空灯火や電気施設の運用及び保守、整備工事の監督業務を行っております。

　航空灯火と電気施設は空港に数多く設置されていますが、その１つ１つが航空機の安全・安心運航のための重要な役割を持っています。そのような設備を適切に維持・管理することで、円滑な空港運用を支えているため、とてもやりがいのある仕事です。

　業務のために様々な知識が必要であるため、日々勉強したりと大変なこともありますが、監督する工事の完了時やシフト勤務で無事に１日を終えた際は、とても大きな達成感を得ることができます。

　また、航空灯火の点検のため、普段は立ち入れない滑走路を車両走行できるのも航空灯火・電気技術官の魅力の１つです。

　航空局は全国異動があり、私自身も羽田空港から那覇空港へ異動してきました。異動の度に、各地の観光名所を巡ったり、独自の文化を体験することを楽しみにしています。

　皆さんも私たちと一緒に航空局で働いてみません

建築区分の主な業務

03

那覇空港管制塔

那覇空港航空写真

03　空港管理・運用の拠点となる庁舎・管制塔、航空保安施設を格納する局舎、空港の消火救難体制の要となる消防庁舎、維持作業用車両格納のための各種車庫等の様々な建築施設の営繕業務を主体としつつ、空港整備計画等の企画・立案、災害対策や空港周辺環境対策など幅広い業務を行っている。

先輩職員に聞く仕事の魅力！

２０２３年　大阪航空局　空港部　建築課　採用
２０２５年　現職

施設運用管理官（付帯施設担当）
先任施設運用管理官付

井上　怜音

可搬形発電設備保管庫(R4d竣工)

　私が航空局に入省した理由は、各地の空港施設での業務を通して、様々な場所で建築の知識を得ることができると考えたからです。採用から１、２年目は、関西圏の各地の空港で建築の知識を深めながら設計や工事を進めることができました。
入省３年目の現在は、那覇空港事務所にて管制塔や航空無線施設等の空港での安全な運航に必要不可欠な施設の新築工事や改修工事の実施、空港施設の点検・保守を担当しており、技術面で空の安全を支えております。
　航空局の建築職の魅力は、利用者の立場となって業務に励み、その成果が自分自身も利用者となり実感できるところです。旅客・空港職員が使用する建物の利用者の意見をもとに設計・工事を進め、工事が終了後には、施設利用者の方々の姿を見て役に立てたと実感することができます。また、自分自身が乗る航空機の窓から、担当した建物を見たときに、自身の働きによって、より安全な運航に寄与できていることを実感しやりがいを感じています。
　業務を行っていく上で、多くの空港や離島に出張する機会が多々あり、各地で貴重な経験もできます。出張先での業務を終えた後の、ご当地の食べ物や雰囲気を楽しむことができるのも航空局での仕事の魅力の一つです。

機械区分の主な業務

04　航空機の運航や空港の運用を支えるために、専門の技術職として国が管理する空港などに設置する機械施設の工事や運用・保守、特殊車両の製造・保守などを主体としつつ、空港整備計画や空港の安全監督など幅広い業務に従事している。

先輩職員に聞く仕事の魅力！

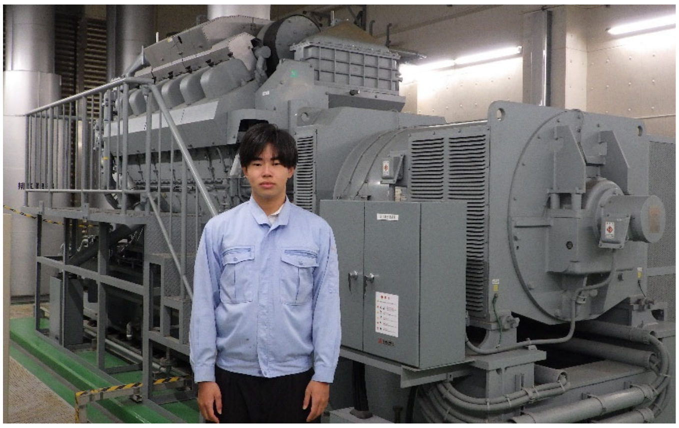
施設運用管理官（広域施設担当）
先任施設運用管理官付

品川　大空

２０２０年　東京航空局　空港部　機械課
２０２１年　東京空港事務所　施設部
　　　　　　施設運用管理官（広域施設担当）
２０２３年　那覇空港事務所　施設部
　　　　　　施設運用管理官（広域施設担当）
２０２４年　現職

【志望動機】

私は、工業高校在籍時に将来の進路を考えた時、”国民全体の奉仕者”を在り方として掲げている公務員という仕事に興味を持ちました。その中でも自分が勉強、資格を取得してきたことを活かせる機械職を希望していたところ、東京航空局 機械課の採用担当者から業務説明会を開催していただける機会があり、同じ高校の卒業生である職員の方の意見を聞くことができたり、機械職で管理している設備や車両を実際に見学させていただいたことで、業務内容の幅広さに魅力を感じ国土交通省航空局を志望しました。



【現在の仕事の紹介】

現在は沖縄本島施設の他、沖縄離島空港の航空保安施設用空気調和設備や、空港用の化学消防車の保守運用及び管理を担当しています。事務所からは航空機の離発着が見えたり、消防車の放水訓練を実施しているところも見る事ができたりと、航空機の安全な運航に携われていると実感することができて、とてもやりがいのある仕事だと感じています。

【体験談】

空港に限らず航空機の運航に必要な施設は全国各地にあるので、その土地の特性に合わせた設備の仕様があったりと常に新しい学びを得ることができることが面白いです。また、自分が工事等の設計に携わる機会もあるため様々な経験を通して知識を取り入れることが重要だとも感じています。

　そして、全国に勤務地があることの魅力としては、やはりその土地の観光地や食べ物、文化に触れる機会が多くなることが挙げられます。私もこの仕事を通して行ったことのない場所へ行く機会が増え、プライベートで遊びに行った場所もあります。

【国家公務員を目指す方へのアドバイス】

　私たちが普段行っている業務は、航空機の運航を支える欠かす事のできない、航空機を利用される方のために貢献できる、とてもやりがいのある仕事です。今後さらに需要が増していく日本の空を支える仕事です。国土交通省航空局で一緒に働ける日を楽しみにしています。

■お問い合わせ先

国土交通省 大阪航空局 総務部 人事課 人事第一係

〒５４０－８５５９　大阪市中央区大手前３－１－４１　大手前合同庁舎

TEL：０６－６９３７－２７０４

https://www.cab.mlit.go.jp/wcab/recruit/